

## 議会活動

### ●交通政策調査特別委員会

この委員会は、少子高齢化社会に対応した利便性の高い公共交通体系による持続可能なまちづくりの実現に向けた交通政策を推進することを目的とし、議員間で議論を重ねております。



平成27年12月に地下鉄東西線が開業し、公共交通の利便性は向上しましたが、中山間地域や郊外住宅地等においては、生活交通のあり方がますます大きな課題となってきます。しっかり調査を重ね取り組んでまいります。

### ●いじめ問題等対策調査特別委員会

昨年6月の第2回定例会において、市立中学校で相次いで起きた自死事案を受け、全議員構成で設置されました。仙台市の教育における重要課題であるいじめ問題について取り組んでおります。

12月4日は有識者からの意見聴取「発達障がいに関する現状及び課題等について」と題して大阪大学大学院の片山泰一氏(公益社団法人 子どもの発達科学研究所理事長)の講演を伺いました。

#### ●信号機改善等の実現に向けて取り組んでおります!



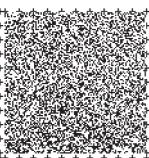
一昨年夏、八木山南1丁目交差点において歩行者の横断中の事故が多発していることから、地元住民から安全対策のお声が寄せられておりました。

横山のぼる県議会議員と連携して「押しボタン式歩車分離交差点」への改善に向けて申し入れておりましたが、昨年7月には2件の事故が発生し、早期実現に向け地元連合町内会の皆さんと協議しました。早急に署名活動をおこなっていただき、

11月9日、1,178名の署名簿を携え南警察署に要望書を提出。「平成30年度には設置できるように努力いたします」との回答がありました。

また、八木山、鈎取方面は、郡山折立線、八木山長町線やひより大橋の開通、地下鉄東西線八木山動物公園駅完成の影響もあり交通量が増加。道路事情の変化に伴い、事故も多発しております。

鈎取4丁目付近の信号機設置、八木山本町2丁目交差点の右折信号への改善、八木山南6丁目付近の押しボタン式信号の時間短縮、長町八木山線の安全対策を申し入れており、今後も歩行者の安全確保のため、実現できるまで粘り強く取り組んでまいります。



※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置しております。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。(無料)



### [1型糖尿病患児者への学校生活の支援と配慮を求める要望書]提出



12月1日、日本IDDMネットワーク加盟団体 けやきの会(1型糖尿病患者の児童生徒とその保護者)の皆さんと仙台市教育委員会に提出しました。患児者にとって血糖値をコントロールするためには、「インスリン注射・捕食は欠かせない」ということを広く知りたいと訴え、第4回定例会(12月13日)の代表質疑においても、一層の理解と対応を求めました。

教育委員会は、「1型糖尿病の児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう適切な支援と対応に取り組んでいく」と回答し、要望内容を各学校に通知しました。

### 復興公営住宅の家賃負担軽減について要望書提出



12月11日、復興公営住宅の入居者の皆さんと市長に要望しました。現在、国の制度により家賃が低廉に抑えられていますが、入居後6年目から段階的に引き上げられることになることから、仙台市独自で軽減措置を講ずるよう求めた

ものです。第4回定例会(12月13日)代表質疑においても取り上げ、市長より「(平成30年)第1回定例会を目途に、独自措置の要否などについて、私自身が適切に判断してまいります」との答弁がありました。

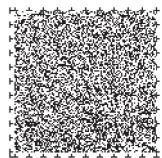
### ❖ 皆さまの声をカタチにしました!(実績抜粋)❖

#### ■住宅の耐震改修工事の支援拡充!(平成29年度限り)

昭和56年5月以前の古い建築基準で建てられた戸建木造住宅の耐震改修工事補助金が30万円増額となり最大120万円まで助成されることになりました。12月20日現在、前年の倍以上の申請件数となり、そのうちの6割弱が過去に耐震診断を受け、改修工事には至らなかった世帯で耐震化への後押しとなっております。

耐震診断については、自己負担17,280円(診断費用の9割を仙台市が負担)で受けすることができます。今後も市民に利用しやすい制度になるよう取り組んでまいります。

#### ■ひより台31付近のバス道路の舗装



※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置しております。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。(無料)